

学校だより

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kurama-s>

令和2年度 学校評価臨時号

京都市立鞍馬小学校

校長 日 吉 肇

〒601-1111 京都市左京区鞍馬本町632

TEL 741-2006 FAX 741-2174

秋晴の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、2学期当初にいただきました学校アンケートの結果についてご報告いたします。

今年度より、児童・保護者・教職員のアンケート項目を関連付け実施いたしました。この結果から見えてきた成果と課題についてまとめました。ここで明らかになったことを見据えて、今後もよりよい教育活動にあたっていきたいと思ひます。

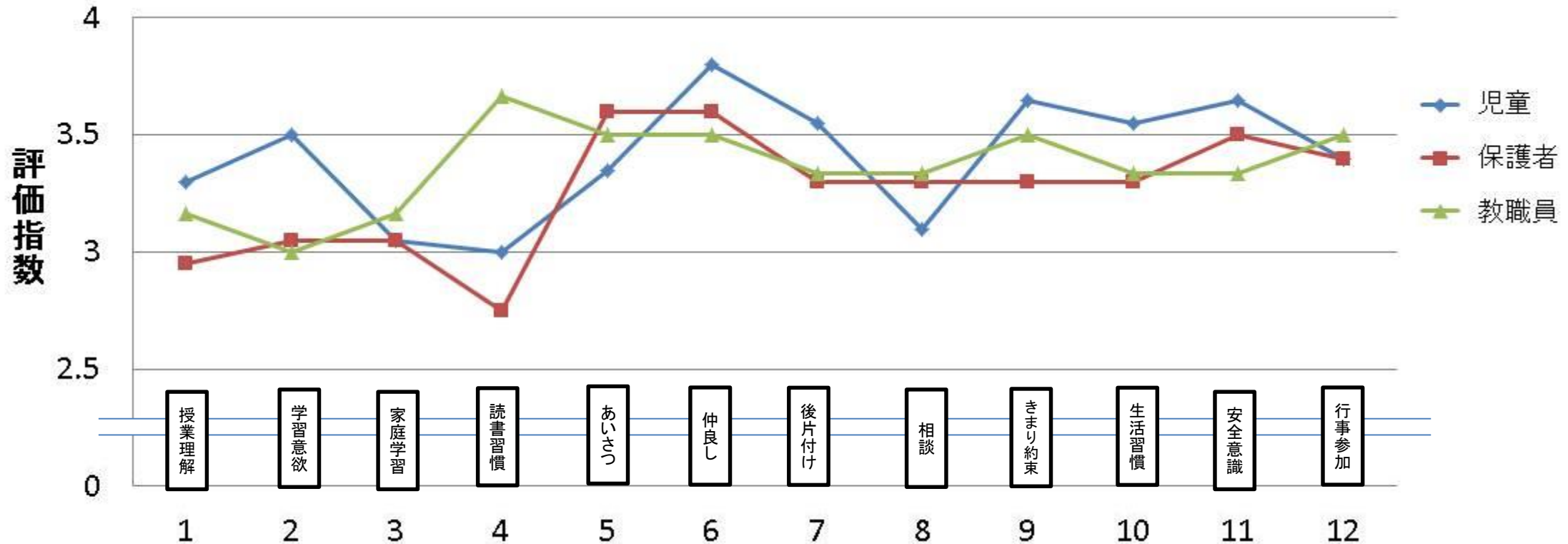
「よりよい学校にするために」アンケート項目とその結果 令和2年8月

番号	児 童	結果	番号	保 護 者	結果	番号	教 職 員	結果
①	授業が分かりやすいですか	3.3	①	わが子は授業がわかりやすいといっている	3	①	基礎・基本の定着を図る工夫を実践している	3.2
②	授業・学習にがんばって取り組んでいますか	3.5	②	わが子は意欲的に学習に取り組んでいる	3.1	②	意欲を引き出す授業の実践をしている	3
③	家で自分から進んで宿題をしていますか(1年・2年) 家で自分から進んで予習・復習などの自主勉強をしていますか(3年以上)	3.1	③	わが家では、家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている	3.1	③	家庭学習の習慣を身につける実践をしている	3.2
④	本をよく読んでいますか	3	④	わが家では読み聞かせをしたり、読書をうながしたりしている	2.8	④	読書の習慣化を働きかけている	3.7
⑤	自分から進んであいさつをしていますか	3.4	⑤	わが家では進んであいさつするようにしている	3.6	⑤	あいさつができるように働きかけている	3.5
⑥	友達を大切にし、仲良くしていますか	3.8	⑥	わが家では友達を大切にし、仲良くするよう声かけをしている	3.6	⑥	仲良くできる学級作りに取り組んでいる	3.5
⑦	物を大切にし、使った物はもとの場所にもどしていますか	3.6	⑦	わが家では物を大切にし、後始末をするように働きかけている	3.3	⑦	後始末をするように働きかけている	3.3
⑧	困った事は先生や家族に相談していますか	3.1	⑧	わが家では子どもが話やすい雰囲気を作るようにしている	3.3	⑧	話を丁寧に聞くようにしている	3.3
⑨	学校やクラスのきまりを守る事ができていますか	3.7	⑨	わが家では子どもがきまりや約束を守って学校生活を送るように声かけをしている	3.3	⑨	きまりや約束を守るように働きかけている	3.5
⑩	早寝・早起きをし、朝ご飯を食べて学校に来ていますか	3.6	⑩	子どもに早寝・早起きをさせ、朝ご飯を食べさせ学校に送り出している	3.3	⑩	望ましい生活習慣を実践できるように働きかけている	3.3
⑪	学校でも地域でも安全に気をつけて行動していますか	3.7	⑪	子どもが安全に気をつけて行動できるように声かけをしている	3.5	⑪	安全に行動できるように働きかけている	3.3
⑫	地域のお祭りやPTAの行事などに、よく参加していますか	3.4	⑫	わが家では、学校・PTA行事や地域の行事などに積極的に参加している	3.4	⑫	地域・PTA行事に参加するように働きかけている	3.5
⑬			⑬	わが家では各種たよりやホームページで学校の様子を知ろうとしている	3.2	⑬	学級たよりやホームページで学校の様子を伝えている	3
⑭			⑭			⑭	いじめ防止について組織対応に努めている	2.7
⑮			⑮			⑮	保護者の相談内容を共有している	3.5

◇分析・考察 ……(評価方法は、各項目ごとに4点・3点・2点・1点で記入。)

評価指数は、『3.0』を概ね良好として判断しています。(「4～1」の指数の中間は、「2.5」であるが「4～1」の段階の指数上の性格から、各項目ごとの総指数の平均指数が『3.0』を下回る結果は、課題と見られる「2.0」を含む場合があることによると考えます。)

「よりよい学校にするために」アンケート結果



成果と課題

- * **2. 意欲的な学習態度**・・・子どもたちの指数は、保護者・教職員の指数よりかなり上回っているのが見られます。大人が見ているより、子どもたちは各自頑張っているんだという思いを持っています。よく言われていますが、子どもたちはほめられて伸びていきます。大人から見ると足りないところが見えてしましますが、まずほめて意欲を持たせ、さらに足りない分を継続した意欲の力を借りて伸ばしていきたいものです。
- * **4. 読書習慣**・・・教職員の思いとして、読書の習慣づけは学習の根幹にかかわるものと考え、どの学年でも積極的に取り組んでいます。学校では、朝読書や国語科の学習と合わせて進めている関連する本の読書などから、子どもたちが本に親しんでいる姿が見られています。学校司書が担任と連携して、活用しやすい学校図書館の運営に力を注いでいる成果が上がってきています。ただ家庭での読書は、テレビやゲームなどに時間を取られて、あまりできていない実態があるのかと考えられます。保護者の方々にも、学校での読書活動を理解していただき、家庭でも読書に親しんでいけるような声かけや雰囲気作りなど、さらに進めていってほしいと考えます。
- * **6. 良好な友人関係**・・・アンケート項目の中で、3者とも高い指数を表しました。6年生を中心に、高学年の児童がリーダー性を発揮して20人の子どもたちをまとめてくれています。また下の学年の子どもたちも、お互いのことを気遣える仲のよい集団を形成しています。学習で頑張る姿をほめることと同様に、友達を気遣い仲よくする姿も継続してほめていきたいものです。少人数の鞍馬校では、良好な友人関係が基本中の基本だと考えます。
- * **8. 子どもが相談できる場づくり**・・・子どもたちの思いからすると、家庭ではご家族に、学校では教職員に何でも相談できると思っている指数が、保護者・教職員の指数より低い傾向が見られます。時間的な制約がある、心の内面の困りごとに気づきにくいという要因などがあるかと思いますが、何時でも聞いてあげられるよという雰囲気と場づくりが大切ではないでしょうか。学校では、「学校アンケート」を分析して今後の指導に役立てたり、記名式の「いじめアンケート」の結果に基づき各担任が「先生と話そう週間」で相談できる場を作ったり、これからも積極的に子どもに関わってきたいと考えます。
- * **全体を通して**・・・今年度は、感染防止のための休校期間があり、いつもとは違った学校生活が始まっています。いつもなら実施されていた学校行事や地域行事がなくなり、活躍の場を失って残念がっている子どもたちがたくさんいます。そんななか、子どもたちの自己肯定感を高めながら学校生活を進めていくために、家庭と学校の連携が不可欠だと思います。「よりよい学校にするために」、同じ方向性を持って、進んでいきたいと考えています。